

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	54人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	43人
・多発性硬化症	41人	・ウェゲナー肉芽腫症	10人
・重症筋無力症	70人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	48人
・全身性エリテマトーデス	240人	・多系統萎縮症	13人
・スモン	0人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	7人
・再生不良性貧血	33人	・膿疱性乾癬	5人
・サルコイドーシス	75人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・筋萎縮性側索硬化症	18人	・原発性胆汁性肝硬変	48人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	226人	・重症急性性膵炎	6人
・特発性血小板減少性紫斑病	67人	・特発性大腿骨頭壊死症	55人
・結節性動脈周囲炎	27人	・混合性結合組織病	51人
・潰瘍性大腸炎	120人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	39人	・特発性間質性肺炎	18人
・ビュルガー病	10人	・網膜色素変性症	18人
・天疱瘡	14人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	29人	・原発性肺高血圧症	6人
・クローン病	87人	・神経線維腫症	24人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	31人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・パーキンソン病関連疾患	39人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	6人
・アミロイドーシス	7人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2人
・後縦靭帯骨化症	33人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	1人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。</li> <li>② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。</li> </ol>		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	3種類の検討会を毎月開催		
剖検の状況	剖検症例数	35例	剖検率 13.8%

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発.	佐藤伸一	皮膚科	18,000,000	補委 厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握と治療法の開発等に関する研究	佐藤伸一	皮膚科	5,500,000	補委 厚生労働省
タバキの新機能活性技術及び高生産性タバキ林育成技術の開発.	佐藤伸一	皮膚科	3,000,000	補委 長崎県
創傷治癒過程における、B細胞およびB細胞シグナル伝達分子のin vivoの役割	佐藤伸一	皮膚科	1,600,000	補委 日本学術振興会
全身性強皮症における抗酸化修復酵素MsrAに対する自己抗体の解析と治療の検討	小川文秀	皮膚科	1,600,000	補委 日本学術振興会
アトピー性皮膚炎における、神経ペプチドのin vivoにおける関与の検討	Bae Sangjae	皮膚科	1,400,000	補委 日本学術振興会
強皮症における抗酸化酵素peroxiredoxin IIに対する自己抗体の解析	岩田洋平	皮膚科	1,500,000	補委 日本学術振興会
免疫複合体病における治療ターゲットとしての活性酸素種及びNO, Co, H2Sの解析	清水和宏	皮膚科	1,600,000	補委 日本学術振興会
ヒトパピローマウイルス持続感染制御に関するゲノム医学からのアプローチ	増崎英明	産科婦人科	4,000,000	補委 厚生労働省
基盤研究(C):マイクロキメリズムから見た妊娠と自己免疫疾患の関連	中山大介	産科婦人科	1,200,000	補委 日本学術振興会
若手研究(B):母体血漿中へ流入する胎盤由来mRNAの同定とその臨床的意義に関する研究	三浦清徳	産科婦人科	1,100,000	補委 文部科学省
シーズ発掘試験:母体血漿中胎盤特異的mRNA/miRNAを用いた胎盤機能検査の開発	三浦清徳	産科婦人科	2,000,000	補委 科学技術振興機構(JST)
成育医療研究委託事業:周産期医療における先進的診断技術の開発と応用に関する研究	三浦清徳	産科婦人科	1,600,000	補委 成育医療センター
若手研究(B):母体血中胎児DNAが自己免疫疾患の原因か?—マイクロキメリズムからのアプ	山崎健太郎	産科婦人科	1,900,000	補委 文部科学省
若手研究(B):子宮頸がんにおける血漿中HPVDNA定量化の臨床的意義に関する研究	嶋田貴子	産科婦人科	2,000,000	補委 文部科学省
北タイにおけるHIV伝播とエイズ病態に関する宿主遺伝子多型研究	有吉紅也	熱研内科	9,360,000	補委 日本学術振興会
アポトーシス細胞の貪食除去に着目した肺気腫の新しい治療戦略	森本浩之輔	熱研内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
HIV関連Lipodystrophyの克服に向けて	秋田定伯	形成外科	24,500,000	補委 厚生労働省
放射線皮膚軟部組織障害に対する創傷治癒センターの国際協力の体制整備	秋田定伯	形成外科	4,550,000	補委 文部科学省
ノックインマウス前立腺癌モデルを用いたスタチンの前立腺癌化学予防に関する研究	酒井英樹	泌尿器科	1,700,000	補委 日本学術振興会
ギャップ結合を介した過活動膀胱の発症メカニズム	野口 満	泌尿器科	1,800,000	補委 日本学術振興会
11β HSDおよび鉍質コルチコイド受容体調節を介した前立腺癌増殖制御機構の解析	井川 掌	泌尿器科	1,300,000	補委 日本学術振興会
マウスモデルを用いたバルプロ酸による前立腺癌予防、治療に関する研究	大仁田 亨	泌尿器科	1,500,000	補委 日本学術振興会
長崎市における前立腺がん検診	酒井英樹	泌尿器科	200,000	補委 (財)前立腺財団
リアルタイムPCRの融解曲線を利用した遺伝子突然変異スクリーニング法の開発	江口勝美	第一内科	3,300,000	補委 日本学術振興会
関節リウマチの早期診断による発症及び重症化予防	江口勝美	第一内科	44,200,000	補委 厚生労働省
非侵襲QOL医療診断技術及びそれらを活用した遠隔医療システムの開発	江口勝美	第一内科	13,578,000	補委 長崎県産業振興財団
関節リウマチの多様な病態はCaMK II δの機能異常でどこまで説明可能か?	川上純	第一内科	1,500,000	補委 日本学術振興会